

第八十一回  
帝國議會  
貴族院

# 郵便年金法中改正法律案特別委員會議事速記録第六號

昭和十八年二月六日(土曜日)午前十時十分開會

○委員長(子爵秋元春朝君) 是ヨリ開會致シマス、大臣ハ今御見エニナリマセヌガ、モウオイデニナルト思ヒマスガ、大臣以外ノ答辯御差支ナイ方ハ御發言ヲ願ヒマス

○男爵久保田敬一君 少シ事務的ノコトデアリマスガ、政府委員ニ御伺ヒ致シマス、自動車交通事業法ノ改正案ニ付テデアリマスガ、先日御説明ニアリマシタ大體只今迄ノ認可免許權ヲ主務大臣ノ手ニ收メテ、サウシテ必要ガアレバ之ヲ地方長官等ニ委任スルト云フ御話ガアリマシタガ、如何ナル程度ノ行政處分ヲ地方長官ニ委任セラレルデアリマスカ、職權委任ノ程度又ハ範圍ト云フモノハドウ云フモノデアリマスカ、伺ヒタイト思ヒマス、第二ニ、貨物自動車ノ所在シテ居ル處ト、重要物資ノ所在シテ居ル處ト一致シナイ府縣ガ少クナイノダラウト思フノデアリマス、殊ニ軍事ニ直接間接ニ關聯スル重要工場ノ近頃新設移轉ガ多イ結果、段々サウ云フ風ナコトノ不調和ノ多クナルヤウナ傾向ガアルト思フノデアリマスガ、之ヲ調整スルコトハムヅカシイコトト思フケレドモ、或程度斷行シナケレバナラスト思フノデアリマス、其ノ點ハ如何デアリマスカ、第三ニ、貨物自動車ノ補助ハ先日モ御話ガアリマシタヤウニ、在來ノ車輛補助カヲシテ今回ハ施設ノ補助ニ改正セラレルト云フ御話デアリマスケレドモ、其ノ對象デアル所ノ車庫デアルトカ、自家修繕設備デアルトカ、又事業者ノ種別如何

ト云フコトニ對シテ如何ナル具體的ノコトヲ考ヘテ居ラレルカ、其ノ大體ノコトヲ承リタイト思ヒマス、第四ニ、自動車會社ノ設立ノ場合ニ、動モスルト資本調整ノ見地カラシテ、資本ヲ非常ニ切詰メテ認可スル傾向ガ多イデアリマス、例ヘバ貨物自動車一輛當リヲ七八千圓位ニ見積ラレルヤウナコトガアリマス、其ノ爲ニ車庫、修繕設備等ヲ資本ニ組入レルコトガ困難ナル、從テ色々ナ不自由、不便ヲ生ズルコトナルノデアリマシテ、一方商工省ハ自動車修理事業ノ整備方針トシマシテ、自家用ヲ壓縮スルヤウナ方針デアアル爲ニ、鐵道省ノ補助ニ依テ之ヲ助成セムトスル方針ト、大藏商工省ナドガ是等ノ整備ヲ壓縮セムトスル方針トニ矛盾ガアルト云フ疑ガアルノデアリマスガ、鐵道當局ノ御所見ハ如何デゴザイマスカ、第五ニ、今日ノ貨物自動車ノ實際効率ガ非常ニ低クテ、先ヅ五割内外デ以テ、休車ノ大部分ハ運轉手及勞務者ノ不足ニ基クヤウニ考ヘラレルノデアリマスガ、之ニ對シテ御方策ハ如何デアリマスカ、ソレカラ自動車組合ノ改組ノコトニ付テ伺ヒタイト思ヒマス、第一、自動車組合改組ノ根本ノ理由ハドウ云フ所ニアルカ、御説明ヲ願ヒタイ、第二ニ、組合ヲ當局ガ指導サレル所ノ指導精神ノ重點ハドウ云フ所ニ置イテ居ラレルノデアリマスカ、第三ニ、自動車事業ニ重要産業團體令ヲ適用スル意思ハアリマセヌカ、第四ニ、府縣ノ組合理事長ト聯合會ノ會長ノミヲ官選トシテ、其ノ他ノ理事ヲ理事長又ハ會長ノ指名トシ、又府縣

組合理事長ヲ地方長官ノ選任ニ任セタル理由ハドウ云フ所ニ在ルノデゴザイマスカ、第五ニ、統制規定ヲ御作りニナル内容ノ概略ヲ御示ヲ願ヒタイ、最後ニ、現行ノ自動車組合ト小運送業者トノ關係ガ兎角圓滿ヲ缺クヤウナ聲ヲ聞クノデアリマスガ、若シサウデアリトスレバ、兩者ノ提携ヲ圖リ、其ノ相剋摩擦ヲ避ケシムルコトハ總力態勢ヲ實現スルコトニ缺クベカラザルコトデアルト思フノデアリマスガ、當局ノ御所見ハ如何デゴザイマスカ、是ダケヲ簡單ニ一ツ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(佐藤榮作君) 先ヅ第一ニ、地方長官ニ職權ヲ委任致シマス考ヘ方デゴザイマスガ、今回ノ改正ニ際シマシテハ中央官廳デアアル主務官廳ト、地方ノ綜合行政機關デアアル地方長官トノソレノ特質ニ鑑ミマシテ、權限ノ分配ヲ行フ方針デ居ルノデゴザイマス、他ノ説明ヲ以テ致シマスレバ、全國的ナ計畫ノ事項デアルトカ、或ハ基本的事項、斯ウ云フヤウナモノハ主務大臣ノ權限ト致シマスレバ、地方的ニ處理スル、或ハ監督ヲ致シマスニ必要ナ權限、斯ウ云フヤウナモノハ地方長官ニ委任致ス、マアコンナ考ヘ方デ權限ヲ委譲スルノデアリマス、デ其ノ委譲致シマス主ナ權限ハ、貨物自動車運送事業ニアリマシテハ、事業計畫ノ變更ノ中主ナル事務所ノ移轉デアルトカ、或ハ營業所ノ新設移轉等ノ認可處分デアルトカ、或ハ車庫ノ新設及ビ移轉ノ認可處分デアルトカ、或ハ事業期間ヲ定ムルモノノ一箇月間ノ最少運行回數ノ變更

ノ認可處分デアルトカ、斯ウ云フヤウナモノヲ主トシテ委任致ス積リデ居リマス、尙又自動車運送事業組合ニ關シマシテハ、組合ノ事業ニ任意事業ト云フモノガアリマスガ、其ノ任意事業ノ實施ノ認可デアリマストカ、或ハ又組合ノ收支豫算並ニ賦課金ノ額及ビ徵收方法ノ變更ノ認可處分、或ハ又組合ノ特別賦課金ノ徵收ノ認可デアルトカ云フヤウナ處分ニ付キマシテ地方廳ニ委任致ス考ヘデアリマス、尙、以上ハ今後省令等ヲ通ジマシテ委任致ス考ノモノデゴザイマスガ、法規自身ニ依リマシテモ、既ニ地方長官ノ有スル權限ト云フモノガアルノデゴザイマシテ、今回ノ貨物自動車運送事業ヤ、今回ノ事業法規ノ上ニ於キマシテモ、貨物自動車運送事業ニ對スル改善命令デアルトカ、或ハ重要物資ノ輸送命令デアルトカ、或ハ重要物資ヲ爲シ得ル權限デアルトカ、或ハ又事業組合ニ對シマシテハ組合理事長ノ任命權デアルトカ、組合監事ノ選任ノ認可權、組合理事長ノ兼職ノ認可デアルトカ、組合役員ノ解任、或ハ組合ノ監督權、斯ウ云フヤウナモノガ法規上認メラレル權限デゴザイマス、第二ノ輸送スベキ物資ノ量ト車輛數トハ一致シテ居ナイノデハナイカ、ソレニ對シテハ如何ナル處置ヲ執ルカ、斯ウ云フ御尋デゴザイマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ御話ノ如ク、今日ノ實情ハ輸送ノ需要ト、車輛ノ車臺數ガ必ズシモ一致シテ居ラナイノデゴザイマス、デ今後組合或ハ聯合會等ヲ通ジマシテ、車輛ノ融通使用等ニ付テ適當ナ指導指示ヲ致スコトハ勿論デゴザ

第四部第九類 郵便年金法中改正法律案特別委員會議事速記録第六號 昭和十八年二月六日

貴族院

一

イマスガ、今回ノ事業ノ統合ニ際シマシテモ此ノ點ニ十分注意致シマシテ、車輛ノ偏在ト云フコトヲ出來ルダケ防止シ、或ハ是正致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス、併シガナラ今日ヤツテ居リマス統合自身ハ府縣單位ニ行ツテ居リマスノゾ、全國的ニ見マシテノ不均衡ヲ是正スルト云フ上ニ於キマシテハ、尙不十分ダト思ハレルノデゴザイマス、又新車ノ配給ニ當リマシテモ地方廳ノ稟申ニ基キマシテ、主務大臣ガ全國各地ノ輸送狀態等ヲ考慮シテ、割當配給等ヲ行ツテ居ルノデゴザイマス、此ノ新車ノ配給自身ニ依リマスル程度ノ是正ハ爲シ得ルヤウニ考ヘルノデゴザイマス、併シナガラ是等ノ方法、又先程申シマシタ組合、或ハ聯合會ヲ通ジテノ色々ノ處置デアルトカ、或ハ統合ニ際シテノ處置等ニ依リマシテモ尙不十分ガアルト考ヘマスナラバ、斯様ナ場合ニ於キマシテハ事情ヲ篤ト勘案致シマシタ上デ、陸運統制令ノ發動モ亦其ノ是正ノ方法デアリカ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、第三番目ノ補助ノ概要デゴザイマスガ、今回ノ事業法改正ノ大キナ點ハ、在來ノ補助ノ範圍ヲ擴張スルコトニアルノデゴザイマス、從ヒマシテ此ノ補助ノ具體的ナ問題ニ付キマシテモ、十分篤ト考究ヲ續ケテ居ルノデゴザイマスルガ、今日ノ考ヘ方ト致シマシテハ、補助ノ對象トナル貨物自動車運送事業者ハ、鐵道若シクハ軌道ト連絡スル事業、又ハ産業上特ニ有用ナル事業ヲ營ムモノニ限ル、是ハ現行法ノ補助ノ對象デアリ事業者ト同様ノ考ヘ方デゴザイマス、從ヒマシテ此ノ點デハ小運送業者デモ差支ナイノデゴザイマス、又貨物自動車運送事業ノ施設ノ整備ニ對シマシ

テ爲ス補助ハ、貨物自動車修繕場、車庫其ノ他輸送上特ニ必要ナル施設デアリマシテ、鐵道大臣ノ定ムルモノノ取得、建設、増設若シクハ改良ヲ爲シタル時、又ハ貨物自動車ノ修繕ヲ爲シタル時、其ノ費用ノ三分ノ一以內ニ於テ鐵道大臣ノ定ムル金額トスルコトデゴザイマス、此ノ點一言説明ヲ附加ヘタイト思ヒマスノハ、貨物自動車ノ修繕ヲ爲シタル時ノ修繕費ノ補助デゴザイマスガ、昨日來御話申上ゲマシタ如ク、新シイ車ノ取得ト云フコトハ非常ニ困難ナ事情ニアルノデゴザイマシテ、現有施設ヲ出來ルダケ活用スル、活カシテ使フト云フ所ニ主眼點ヲ置クベキデアルト考ヘマスノゾ、積極的ニ此ノ修繕ヲ勸奨シタイ、勸メテヤリタイ、斯様ニ考ヘルノデゴザイマス、修繕費ノ補助ト申シマシテモ、修繕費ノ全額ト云フ意味デアリナイノデアリマシテ、普通運賃ヲ定メマシタ際ニ、其ノ運賃ノ構成部分トシテ考ヘラレル普通ノ修繕費、是ハ補助ノ對象トナラナイノデゴザイマスガ、最近ノ物價騰貴ナリ、或ハ勞銀騰貴ニ因リマシテ修繕費ガ相當多額ニ上ツテ參ルノデゴザイマス、其ノ通常修繕費ト實際ノ修繕費トノ差額ヲ補助シテヤル、斯ウ云フヤウナ考ヘ方デ、出來ルダケ現有施設ノ整備充實ヲ圖ルヤウニ指導シテ參リタイト思フノデゴザイマス、次ハ自動車會社設立ノ場合ノ資本構成ニ付テノ希望、竝ニ修理工場所有ニ付テノ商工省方面トノ協議如何ト云フコトダト考ヘルノデゴザイマスガ、此ノ貨物自動車自身ハ最近色々價格ガ論議ノ對象ニナルノデゴザイマスガ、全國的ニ見マスルト車輛自身ニ付キマシテハ、中古車ニ付テノ公定價格ノ定メガアルノデゴザイマス、公定價格ヲ基準

ニシテ考ヘマスルト、貨物自動車運送事業者ノ資産ハ通常ノ營業狀態ニ於キマシテハ、其ノ資産ヲ車輛數ニ按分シテ見マスルト、七八千圓程度ニナルノガ通常ノ狀態デアリマシマス、ソレデ先程御話ノアリマシタ如ク通常ノ狀態ニ於キマシテハ、貨物自動車一輛當リヲ七八千圓程度ニ見積ルト云フコトガ普通行ハレテ居ル所デアリマスガ、會社ノ實情ニ依リマシテ修理施設等、特別ニ資産内容ガ充實シテ居ルヤウナ場合ニハ、必ズシモ此ノ一般ノ標準ヲ固執スルト云フヤウナコトハナイノデゴザイマス、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ十分實情ニ合フ處置ヲ執ツテ居ルノデゴザイマス、唯是ガ無制限ニ取扱ハレマスルト云フコトハ、會社ノ資産内容ガ兎角水脹レラ來ス虞ガアリマスノゾ、一應ノ標準ト致シマシテ先程御話ノアリマシタ如ク、一輛當リ七八千圓程度ト考ヘラレテ居ルノデゴザイマス、是ハ資金調整ノ委員會等ニ於キマシテモ、此ノ資産内容ニ付キマシテハ特ニ詳細ノ調査ヲ要求シテ居ルヤウナ次第デアリマスノゾ、必ズシモ此ノ標準通りニ物事ガ拘子定規ニ決メラレル譯デアリナイノデゴザイマシテ、其ノ點ハ篤ト實情ニ副ツタ方法ガ考ヘラレテ居ルノデゴザイマス、尙此ノ修理工場自身ニ付キマシテハ、商工省關係ト致シマシテ、自動車ノ修理工場ノ整備ヲ積極的ニ進メテ居ル、是ハ御話ノ通りデゴザイマス、是ハ一ツノ修繕事業トシテノ整備方針デゴザイマス、而シテ我々ガ今自動車業者ニ希望シテ居リマス所ノ修繕場ハ、自家用トシテノ施設ノ整備デゴザイマシテ、此ノ點ニ付キマシテハ商工當局トモ篤ト協議ヲ遂ゲテ居リマシテ、事業者ガ日常ノ車輛運用ヲシテ支障ナ

カラシメルニ必要ナル小修理ヲ行フ爲ニ修繕場ヲ保有スルコトハ、商工省モ承認シテ居ル所デアリマシマス、從ヒマシテ、別ニ會社設立ノ場合ニ於ケル資本調整ノ建前ニ於キマシテ、大藏省ト意見ガ違フテ居ル譯デモナク、又商工當局ノ修理事業ノ整備方針トモ必ズシモ矛盾相剋シテ居ルモノデアリナイノデアリマシテ、資金調整ノ委員會ナリ或ハ幹事會ナリニ對シマシテモ、鐵道省カラモ幹事、委員ガ出テ居リマスシ、又商工省ノ方トモ只今御説明致シマシタ如ク、十分此ノ點ハ協議ガ纏ツテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、第五ニ貨物自動車ノ實働効率ハ非常ニ低イノデアリカ、而モ其ノ低イ理由ハ大部分運轉手及勞務者ノ不足ニ基クヤウニ考ヘルガ、之ニ對スル方策ハドウダ、斯ウ云フ御尋デゴザイマスルガ、實情ニ付テ申上ゲマスレバ、貨物自動車ノ實働効率ハ普通ノ狀態ニ於キマシテモ……普通ノ狀態ト申シマスノハ、燃料ナリ或ハ勞務員、運轉手、部分品等ガ普通ニ入ツテ居ル、此ノ狀態ニ於キマシテモ、恐ラクハ割程度ノ實働効率ヲ擧ゲレバ非常ニ成績ノ良イ方ダラウト考ヘルノデアリマス、ソレガ今日五割或ハ六割程度ノ實働効率ニナツテ居ルト云フコトハ事實デゴザイマス、サウ云フヤウニ實働効率ガ下ツテ居リマス主タル理由ノモハ、老朽車ニ對シマシテ新車ノ補給ガ十分參ツテ居ナイ、是ガ主タル理由ノヤウニ考ヘルノデアリマス、即チ老朽車ニ對スル入替不能ト云フコトガ大キナ原因ノヤウニ考ヘルノデアリマシテ、恐ラク是ガ十五「パーセント」内外ハ此ノ原因ニ基ク實働効率ノ減少ダラウト考ヘルノデアリマス、残りノ十「パーセント」或ハ十五「パーセント」ト云

フヤウナ部分ニ付キマシテハ、是ハ勞務員ノ不足デアルトカ、或ハ燃料、油類、タイヤ、「チユー」等ノ部分品ノ不足デアルトカ云フヤウナ、各種ノ原因ノ競合ニ因ツテ生ズル所ノ効率ノ低下ハナイカト考ヘルノデゴザイマス、之ニ對シマシテハ老朽車ノ整理ト云フモノヲ最近ノ機會ニ積極的ニ致ス考デ居リマスノデ、其ノ老朽車ノ整理ガ出來マシタナラバ、其ノ他ノ原因ニ依リマス所ノ効率ノ低下ト云フモノニ對シマシテ十分ノ見透シモ立ツコトデハナイカ、或ハ其ノ實情モ明カニナリマシテ、對策モ立テ易イノデハナイカト考ヘテ居ルノデゴザイマス、從ヒマシテ昨日モチヨット此ノ點ニ觸レタノデゴザイマスルガ、勞務員或ハ運轉手ノ確保ニ付キマシテハ、厚生省ト特ニ連絡ヲ執リ、又勞務調整令ニ基ク所ノ傭人ノ確保デアルトカ、或ハ移動防止等ノ對策ヲ講ズルト共ニ、一面技術員、運轉手ノ養成ニ付キマシテモ、省自身ト致シマシテ積極的ニ乗出シテ行ク考デゴザイマス、或ハ又修理工場ヲ整備シ、ソレヲ通ジマシテ部分品ノ或程度ノ施策ト云フヤウナコトモ、省自身積極的ニ乗出シテ行ク考デ居ルノデゴザイマス、此ノ點ハ特ニ新車ガ澤山配給サレテ居ナイ現狀ニ於キマシテハ、現有施設ヲ活用スルト云フコトニ重點ヲ置イテ指導シテ居ルノデゴザイマシテ、勞務員ノ確保ナリ或ハ部分品ノ確保ナリ、或ハ其ノ配給ノ適正ナリト云フモノニ付キマシテ、十分留意シテ行ク考デゴザイマス、組合改組ノ根本理由ハ、今日ノ組合ハ事業ノ健全ナル發達ヲ圖ルコトヲ目的トスル、謂ハバ自衛的ナ事業者ニ依リマス任意的ナ組合ナンデゴザイマス、此ノ組合ハ、從前商

業組合ニ據ツテ居リマシタ組合ガ現行ノ組合ノヤウニ改組サレタノデゴザイマスルガ、其ノ後一般ノ情勢ガ大變ナ變化ヲ來シマシテ、殊ニ輸送力増強ト云フコトガ戰力充實ト國家的ナ根本的要素トシテ考ヘラレルヤウニナリマシテ、此ノ組合ヲ通ジテ貨物自動車輸送力ノ綜合能力ノ發揮ヲ圖ルト云フヤウナ施策ニ移ツテ參ツタノデゴザイマス、從ヒマシテ此ノ組合ガ自治的ナ自衛的ナ組合トシテ構成サレテ居リマスモノニ對シテ、輸送統制ト云フ大キナ仕事ヲ課シテ居ルガ現狀デゴザイマス、從ヒマシテ今回ノ改正ニ當リマシテハ、今日組合ガ要求サレテ居ル輸送統制ヲ完全ニ遂行シ得ルニ適應スル性格ヲラシメル、又其ノ機構、目的等モ此ノ國策ニハツキリ副ハスヤウニ致スト云フコトガ改正ノ根本ニナツテ居ルノデゴザイマス、從ヒマシテ今回ノ改正ニ當リマシテハ、組合ハ事業ノ總力ヲ擧ゲテ輸送ノ遂行ニ當ル、其ノ爲ニ事業者ニ對シマシテノ統制機能ヲ強クシテ參ル、又國策ニ協力スル爲ニ此ノ統制ヲ遂行シ、此ノ事業統制ノ爲ニ必要ナ範圍ニ於キマシテ、資材ノ共同購入デアルトカ、或ハ共同施設等ヲスルト云フ、斯ウ云フヤウニナツテ居ルノデゴザイマス、從ヒマシテ組合ノ指導精神ノ重點モ、今回ノ改正ノ根本理由ニ基イテ今後指導シテ參ル積リデアリマス、即チ組合ノ今後ハ事業ノ強力ナル統制機關ヲラシメ、同時ニ政府ノ施策ニ對シマシテ積極的ニ協力サス、斯ウ云フコトニ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、以上ノヤウナ考ヘ方カラ見マスルナラバ第三ノ御質問ニアリマシタ如ク、重要産業團體ヲ適用スルコトガ望マシイノデハナイカ、斯ウ云フヤウナ御意見モ生

ズルカト考ヘルノデゴザイマスガ、重要産業團體ハ御承知ノ如ク統制指導ハ致シマスルガ、統制指導ノ爲ニ必要ナル事業ヲ行フト云フコトガ出來ナイノデゴザイマス、デ今回ノ組合ノ改組ニ當リマシテハ、此ノ重要産業團體ガ許シマスル所ノ統制會ニ附與シテ居ル其ノ統制權限ヲ今回ノ組合ノ改組ニ當リマシテモ採リ入レ、サウシテ一方デ現行ノ組合ガ有シテ居ル長所トモ謂フベキ統制ノ爲ニ事業ヲ行ヒ得ル所ノ權限ハ、其ノ儘殘シテ置クト云フ方法ヲ講ジタ次第デゴザイマス、一言ニシテ申シマスレバ、今回ノ組合ハ統制會の特色ヲ同時ニ任意組合トシテノ事業ヲ遂行シ得ル所ノ特質ト、此ノ二ツヲ併セ有スル所ノ組合ト致シタイト考ヘテ居ルノデゴザイマス、次ニ理事長或ハ聯合會會長ノ任命ニ付テノ問題デゴザイマスルガ、只今申シマシタ如ク組合ナリ、聯合會ト云フモノガ政府ノ施策ニ協力シテ事業ヲ統制スル機關デアルト云フ點カラ考ヘマスレバ、此ノ理事長デアルトカ、或ハ聯合會會長ト云フ者ハ、十分政府ト連絡ヲ緊密ニシ、政府ノ施策ニ付テ十分ノ理解ヲ必要トスルヤウニ考ヘルノデゴザイマス、此ノ意味ニ於キマシテ、業務執行ノ代表機關ハ國家ガ適任ト認ムル人タルヲ要スルノデゴザイマス、此ノ點ガ今回理事長ト聯合會會長ヲ官選ト致シタ理由デゴザイマス、其ノ他ノ理事或ハ聯合會ノ理事長ヲ會長又ハ組合ノ理事長ガソレノ指名スル、斯ウ云フ方法ヲ執リマシタコトハ、只今ノ如ク國家ガ適任ト考ヘル人デアリマスナラバ、此ノ會長ナリ理事長ヲ補佐スル所ノ機關デアリマス理事長或ハ理事ト云フヤウナ者ハソレノ理事長又ハ聯合會會長ガ信頼スル

人ヲ就任セシムルト云フコトガ、業務ノ圓滑ヲ期スル所以デアルト考ヘルノデゴザイマス、其ノ意味ニ於キマシテ理事或ハ理事長ヲ會長ノ指名ヲラシメタ所以デゴザイマス、尙府縣組合ノ理事長ヲ地方長官ノ選任ニ委シマシタ理由ハ、組合ノ業務執行ニ付キマシテハ、自動車運送事業ノ現狀カラ見マシテ、府縣ト極メテ密接ナル關係ニアルノデアリマス、此ノ圓滑ナル運營業ノ爲メ地方長官ノ任命トシタノデアリマスルガ、唯中央官廳トノ連絡ヲ密ニシ、國策遂行上萬全ヲ期スル爲ニハ、豫メ此ノ點ハ主務大臣ノ認可ヲ要スルコトト致シタノデゴザイマス、統制規定ノ内容デゴザイマスガ、此ノ統制規定ハ輸送統制ニ關スル事項ヲ定ムルコトガ主タル内容ノヤウニ考ヘルノデゴザイマス、デ輸送統制ニ關スル事項ト申シマスルノハ荷物ノ共同引受デアルトカ、車輛ノ共同配車デアルトカ、或ハ運賃、料金ノ共同集金制ヲ大要トスルノデアリマシテ之ニ付テノ色々ノ規定ヲ致スコトガ大キナ第一點デゴザイマス、第二ノ問題ト致シマシテハ、組合員ノ事業ニ關スル統制ニ關シ理事長ノ諮問機關タル統制委員會ニ關スル事項ヲ規定シテ居ルノデゴザイマス、第三ト致シマシテハ、運送實績或ハ營業報告、財産管理ノ諸報告ノ提出ニ關スル事項、第四ト致シマシテハ、事業法ニ基キマシテノ事業ノ検査ニ關スル事項、其ノ他事業ノ内容ニ付キマシテ臺帳ヲ整備スルトカ、或ハ報告書ニ付テノ様式制定或ハ報告ト云フヤウナコトニ付テノ規定ヲ設ケタノデゴザイマス、此ノ考ヘ方ト致シマシテハ、何處迄モ此ノ組合ノ目的タル統制指導ニ相應ハシイ内容ヲ持タシテ行キタイト考ヘテ

居ルノデゴザイマス、最後ノ御尋デアリマス所ノ現行組合ト小運送業者トノ關係ノ問題ハ、我々ト致シマシテ最モ慎重ニ取扱ヒ、又力ヲ入レテ之ガ調節ニ努力シテ居ル點デゴザイマス、今日迄ノ處御尋ノヤウナ御感想ヲ受ケルヤウナ事柄ガナイデモナイノデゴザイマスガ、此ノ點ニ關シマシテハ大運送ヲ扱ヒ、又一面ニ地場運送デアルトラック」運送ヲ監督指導フシテ居リマス所ノ鐵道省ト致シマシテハ萬全ノ對策ヲ講ジマシテ、苟モソレ等ノ點ニ付テ間然スル所ノナイヤウニ致シタイト思フテ居ルノデゴザイマス、デ申ス迄モナク鐵道貨物輸送ノ完璧ヲ期スル爲ニハ、小運送業者ヲシテ十分ノ作業能力ヲ確保セシメルコトガ必要ナノデアリマス、其ノ爲ニハ小運送ニ絕對必要ナ限度ノ「トラック」ハ、小運送業者ヲシテ出來得ル限り保有セシムル方針デゴザイマス、而シテ小運送業者ノ有スル「トラック」ニ付キマシテモ、其ノ作業ノ特殊性ニ適シタ適當ナ方法ノ下ニ組合ノ輸送統制下ニ置クコトト致シマス同時ニ、小運送ニ必要ナ車ハ組合ノ輸送統制ヲ通ジテ、小運送ニ確實ニ配車シ得ル方法モ併セ講ジ、小運送地場兩者間ノ綜合運用ノ妙ヲ發揮セシムル積リデゴザイマス、尙從來小運送用貨物自動車ニ付キマシテハ、色々ノ事情ニ依リマシテ、其ノ免許ノ手續デアルトカ、或ハ運賃料金等ガ地場運送用ノ自動車ト異ル點ガアリマシテ、其ノ爲ニ色々ノ支障ガアッタ

ノデゴザイマスガ、今後可及的ニ兩者間ノ是等ノ點ニ付テノ相違ヲ取除イテ行ク方針デ居ルノデゴザイマス、今回ノ改正ニ際シマシテハ、小運送或ハ地場運送ト云フヤウナ區別ヲシテノ取扱ヲ出來ルダケ避ケテ

行ク、何處迄モ自動車ハ組合ノ統制下ニ置ク、サウシテ其ノ内部ノ事務ノ分配ト致シマシテ、小運送業者ノ有スル車ハ出來ルダケ小運送用ノ爲ニ最優先的ニ確保シテ置ク、サウシテ小運送用ノ車輛ガ不足デアレバ、組合ヲ通ジテ小運送ノ方ハ配車シテ貰フ、又小運送ノ方デ車ニ餘裕ガアリマスルナラバ、組合ノ統制ニ依リマシテ地場ノ方ニ應援シテ行ク、斯ウ云フヤウナ一元的ナ處置ヲ執リタイト考ヘテ居ルノデゴザイマス

ト云フヤウナ、何ト云フ名デゴザイマシタカ知レマセヌガ、地方ニアル所ノ自動車事業ヲ指導スル爲ニ、特ニソレノ行政官ト云ヒマスカ、監督官ト云ヒマスカ、指導官ト云ヒマスカ、ソレヲ派遣スルト云フヤウナコトヲ承ツタコトガアルノデアリマスガ、サウ云フ點ハ今デモサウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居ルノデアリマセウカ

考ヘテ居リマス、唯實際ノ問題ト致シマシテ、豫算ヲ新タニ取り、定員ヲ新タニ取ツテ、尙サウ云フヤウナ連絡官ヲ設クル要ガアルカドウカ、其ノ邊ニ付キマシテハ十分研究ヲ要スル問題ノヤウニ考ヘマシテ、今日ノ處リコ迄ノ積極的ニ突キ進メタ考方ハ有シテ居ラナイノデアリマス

○男爵久保田敬一君

○政府委員(佐藤榮作君)

○伯爵大本喜福君

只今御懇切ナ御説明ヲ承リマシテ、非常ニ明瞭ニ分リマシテ、有難ク存ジテ居ルノデアリマス、唯、只今ノ御説明全體ヲ通ジテ私ガ感ジマシタノハ、此ノ自動車ニ關スル所ノ交通行政ハ、地方ニアツテハ地方長官ヲ通シテヤルト云フヤウナコトニスルヤウニ承ツタノデアリマシテ、是ハ私ハ非常ニ賛成ナノデアリマスガ、數年前迄ハ鐵道省デハ交通行政ヲ地方長官ヲ通サズシテ、自分ノ手ト云フトロカシイノデスケレドモ、地方鐵道局ヲ通シテ交通行政ヲ行ハムトスル傾向ガ非常ニアツタノデス、便宜上カラ言フトはハ非常ニ宜イコトデアルケレドモ、筋カラ言フト私ハ大變遠フト云フコトヲ申シテ居ッタノデアリマシテ、地方鐵道局ハ國有鐵道ノ事業廳デアリ、地方交通行政ハ當然地方長官ヲ通シテ爲スベキデアルト云フコトヲ始終申シテ居ッタノデアリマス、今回ノ如ク地方長官ヲ通シテ交通行政ヲナサルト云フヤウナ御方針ハ、誠ニ是ハ筋ノ通ツタ宜イコトデアルト思フノデアリマスガ、前ニ外ノ所デ政府ノ御内意ト云フモノヲ承ツタコトガアルノデアリマスガ、其ノ時ニハ鐵道省自身ガ監督官

交通行政ノ大マカノ根本的ナ筋ト致シマシテハ、只今御話ノアリマシタ如ク鐵道省、ソレカラ地方廳、斯ウ云フモノヲ通ジマシテ監督指導シテ參ル譯デゴザイマス、デ一番私共トシテ心配シテ居リマス所ノモノハ、戰時陸運非常體制ノ根本精神カラ考ヘマシテ、國有鐵道ノ輸送、即チ國家ノ輸送ノ根幹デアルモノト、ソレ以外ノ地方鐵道、軌道、自動車等トノ連繫ヲ緊密ニスルト云フ點ガ、是非トモ望マシイコトノヤウニ考ヘラレルノデゴザイマシテ、其ノ意味ニ於キマシテノ輸送ノ實際カラノ連絡ノ何等カノ方式ニ於テ必要デアルノデハナイカ、斯様ニ考ヘマシテ、嘗テ輸送指導官、或ハ調整官トカ云フヤウナ假稱ノ下ニ、只今御尋ノアリマシタヤウナ考方デ色々研究ヲ進メタコトガアルノデゴザイマス、多分其ノ點ニ付テノ御意見ダト考ヘルノデアリマスガ、之ニ付キマシテハ今日モ別ニ變ツタ考ヘ方ヲ持ッテ居ルノデハナイノデゴザイマシテ、行政上ノ第一次官廳トシテ地方廳ヲ使ッテ居リマスルガ、輸送ヲ圓滑ニシ、又輸送ノ總力ヲ發揮サス、斯ウ云フモノニ必要デアリマスカナラバ、只今申シマシタ輸送調整官ト申シマスカ、或ハ輸送指導官ト申シマスカ、斯ウ云フ種類ノ連絡官ヲ置クコトハ必要デハナイカ、斯様ニ

今ノコトニ關シテ少シ御尋ネシタイト思ヒマス、今度ノ改正ニ依リマシテ運賃トカ、免許トカ云フモノハ中央ニ取り上げラレルヤウニナル、地方長官ハ單ニ改善命令等ダケノ職權ニナルヤウデアリマスガ、是ハ地方長官ノ權限ノ縮小ト考ヘテ宜シウゴザイマスガ、ソレカラ地方鐵道局ハ何等之ニ干與致サナイノデアリマセウカ、ソレカラモウツ御尋ネシタインノハ、私營自動車ノ交通調整ニ關シテ、省營自動車トノ關係ガドウ云フ風ニナリマセウカ、此ノ點御尋ネシタイト思ヒマス

第一點ハ今日地方長官ガヤツテ居リマシタ免許或ハ事業計畫ノ變更ニ付テノ認可權ト云フモノガ、今後主務大臣ノ方デヤルコトニナルノデ、此ノ點ハ地方長官ノ權限ガ縮小サレタト、斯ウ云フヤウナ感ジヲ持タル、コトト考ヘマスルガ、實際ノ處理ト致シマシテハ、地方廳ガ綜合機關トシテ色々監督指導フシテ居リマスノデ、其ノ點ニ支障ハナイヤウニ、只今ノヤウナ書類ニ致シマシテモ地方廳經由デ主務省ガ處理シテ行クト云フコトデゴザイマスノデ、此ノ點ハ處分權ハ御話ノ如ク無クナリマスガ、十分地方廳ノ意見ト云フモノヲ上申シ得ル機會ガ與ヘラレテ居ルノデゴザイマス、尙主務大臣自身ガヤリマスコトハ、

先程久保田男爵ノ御話ニアリマシタ如ク、今日ノ實情ハ全國的ニ見マシテ計畫ヲ立テル必要ガアルノデゴザイマス、一地方廳ノ主宰シテ居ル府縣單位デ物事ヲ考ヘ得ナイ、斯ウ云フヤウナ實情ニアリマスノデ、此ノ點ハ主務大臣ガ處理スル方ガ適當デハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ第二ノ、鐵道局長ニハ職權ヲ委任シナイカ、斯ウ云フ御尋デゴザイマスガ、「トラック」事業ニ關シマシテハ大部分ト申シマシテモ差支ナイト思ヒマスガ、鐵道局長ハ關與致サナイノデゴザイマス、此ノ貨物自動車事業者ニ對スル補助並ニ組合補助ニ關スル所謂會計上ノ金錢ノ出納或ハ經理、斯ウ云フヤウナ關係ニ於キマシテハ、本補助金ガ鐵道會計ノ負擔アル建前ト、補助金ノ計算及ビ過不足ヲ生ジタ場合ノ處置ハ特別ノ處置ヲ要シマスノデ、此ノ點ハ鐵道局ニ於テ處理スル考ヘテ居リマス、此ノ點ガ鐵道局デ行ヒマス主ナルモノデアリマシテ、ソレ以外ニ對シマシテハ、補助ノ事務ヲ處理スルニ必要ナル所ノ事業上ノ報告、或ハ書類ノ提出ト云フヤウナモノヲ事業者ニ求メ得ルコト、或ハ事業ノ狀況ノ監査ヲ行フ、斯ウ云フコトガ鐵道局ニ委任サレル事項デゴザイマス、ソレカラ第三ノ點ハ、私テヨット御尋ノ要旨ガ分リ兼ねタノデアリマスガ、公共團體デヤツテ居リマス場所ニ省營ノ自動車ガ出得ルカ、斯ウ云フコトデアルト思ヒマスガ、勿論省營ヲアル必要ガアリマスナラバ、公共團體ガヤツテ居リマス場所ニ付キマシテモ、出テ別ニドウ斯ウト云フ問題デハナイト思フノデゴザイマスガ、一般的ニ申シマシテ、公共團體ガヤツテ居リマスヤウナ事業ハ、

レノデゴザイマシテ、或ハ實際問題トシテ其ノ必要ガナイ場合ガ多イカトモ考ヘルノデアリマス

○坂野鉄次郎君 別ニ大臣ヲ煩ハス程ノ問題デハナイノデ、御主任ノ方カラ御話ヲ承レバソレデ結構デス、貨物自動車ガ其ノ效能ヲ十分現サヌ理由ニ付テハ先刻政府委員カラ説明ガアリマシタガ、私素人デヨク分

ラヌノデスガ、他カラテヨット聞イタ所ニ依リマス、「ガソリン」ノ足ラヌノモノ一ツノ原因デアリマセウガ、又先刻モ御話ガアッタヤウニ色々理由モアリマセウガ、何カ「スタート」スル時ニ必要ナル油デスカ、何カサウ云フモノガ足ラヌ爲ニ、極僅カシカ要ラナイ油ガ、機械ニ差ス油デスカ、ソコハヨク知りマセウガ、何カサウ云フモノガ足ラヌ爲ニ、澤山貨物自動車ガアリ、又「ガソリン」ガアツテモ動カスコトガ出來ナイヤウナ状態ニアルヲデヤナイカト云フヤウナコトヲ聞イタノデアリマスガ、若シサウ云フコトガアリマシタトシマスナラバ、是ハ餘リ澤山要ラヌモノダサウデスカ、一ツ特別ナ船デモ立テテ南洋カラ取ルトカ、何カ方法ハナイノデアリマセウカ、金錢ノ問題デハナイノデアリマスカ、サウ云フ救済ノ途ガナイノデアリマスカ、其ノコトヲ御主任カラ承リタ

イ

○政府委員(佐藤榮作君) 只今ノ御尋ハ多

分「モビールオイル」、機械油、「グリニス」、「ブレイキオイル」、斯ウ云フ種類ノモノダト考ヘルノデアリマス、「グリニス」、「ブレイキオイル」ハ兎ニ角或程度アルヤウデアリマスガ、昨日モテヨット申上ゲタノデアリマスガ、「モビールオイル」、機械油ハ全ク困ッテ居ル状態デアリマス、此ノ機械油ニ

對シマシテハ、恆久策ト致シマシテハ南方ノ油ヲ内地ニ持ッテ參リマシテ、ソレヲ脱糞シテ行クコトヲ色々研究シテ居リマスガ、是ハ只今直ぐ間ニ合フコトデハナイノデアリマス、デ今日間ニ合ハス方法ト致シマシテハ、アリマス「モビールオイル」ニ動植物油ヲ混入シテ、サウシテ幾分か粘リケガ落ちル油ヲ使ハシテ見ヨウト云フコトデ、混合「モビールオイル」ト云フコトデ市場ニ出シテ行クコトニナッテ居ルヤウデアリマス、是ハ何レモ商工省ノ燃料局ニ於キマシテ色々對策ヲ講ジテ居ルノデアリマス、消費者ヲ指導シテ居リマス鐵道省ト致シマシテモ、燃料局ダケニ委ス譯ニ行カナイモノデアリマスカ、企畫院ナリ或ハ油ヲ幾分持ッテ居ルト考ヘラレマス軍方面ニモ色々事情ヲ話シ込ミマシテ、サウシテ出來ルダケ「モビールオイル」ノ確保ト云フコトニ努メテ居ルノデゴザイマス、尙之ニ付キマシテハ大政翼贊會等トモ協力致シマシテ、蓖麻ヲ全國的ニ栽培シテ行ク、サウシテ此ノ蓖麻ノ油ヲソチラニ持ッテ參ル、斯ウ云フヤウナ方法ヲ考ヘテ居ルノデアリマスガ、矢張り「モビールオイル」自身ニ付キマシテハ、獨り自動車バカリノ問題デナクテ、機械工場方面、或ハ幾分カ性質ハ違ヒマスガ、鐵道軌道等ニ於キマシテモ必要ガ痛感サレテ居リマス、國自身ノ問題ト致シマシテ代用燃料對策委員會ニ於キマシテ對策ヲ慎重ニ考究シ、色々手段ヲ講ジテ居ルヤウナ次第デゴザイマス

○坂野鉄次郎君 南洋カラ直グ取ッテ來ルト云フ譯ニハ行カヌノデスカ、アチラニハ

ナイノデゴザイマス

○政府委員(佐藤榮作君) ドウモ私ハ餘り

其ノ邊詳シクナイノデゴザイマスガ、油ト申シマシテモ、ドノ油、ドノ原油自身デモ直グ機械油ニナル、斯ウ云フモノデハナササウデゴザイマシテ、今申シテ居リマスノハ、南方ノ「ミラー」、「セリヤ」ト申シマスカ、其ノ附近ノ油カラ「モビールオイル」ニナル、斯様ナコトヲ言ッテ居ルヤウデゴザイマス

○坂野鉄次郎君 私モ能ク分ラヌノデスカ

ラ、結構デセウ

○男爵北大路信明君 私ハ自動車運賃ノコトニ付テ御伺ヒ致シタイノデアリマスガ、

運賃ノ昂騰ト云フモノハ、製品原價ノ上ニモ亦低物價政策堅持ノ上カラモ影響ノアル問題デアリマスガ、近來燃料其ノ他諸物價ガ相當昂騰ヲ示シテ居ルノデアリマスガ、是等ニ關シテハ當局ハ如何ナル御方針デアリマスカ、此ノ點御伺ヒ致シマス

○政府委員(佐藤榮作君) 運賃ニ付キマシテハ、此ノ「ガソリン」ノ消費規正ヲ致シマシテ、代用燃料ヲ使フヤウニナリマシタ際ニ、自動車ト云フモノガ本質的ニ變ッテ參タヤウニ考ヘマスノデ、在來ノ自動車運賃

デナクツテモ、所謂適正運賃ヲ作ル必要ガアルノデヤナイカ、斯様ニ考ヘマシテ、「バス」ト「トラック」ソレノ部門ニ付テ組合等ノ協力ノ下ニ、色々原價計算等ヲ致シテ參タノデゴザイマス、ソレデ先ヅ「バス」方面デハ比較的早ク運賃ノ適正化ガ行ハレタ、是ハ一方今申上ゲルヤウナ理窟デナクツテ、一般ノ輸送對策ト云フヤウナ點モ非常ニ働キマシテ、比較的運賃ヲ變ヘルコトガ容易デアッタノデゴザイマスガ、「トラック」ノ方ニ付キマシテハ、送ラレ、所ノ貨物ノ負擔力ト云フコトモ考ヘナケレバナラナイノデ、

ナカノサウ「バス」ノ如ク簡單ニハ參ラナ

カッタノデゴザイマス、併シ此ノ「トラック」ノ運賃ニ付キマシテモ一昨年ノ十二月先ツ東京府カラ始メマシテ、色々ト運賃ノ改正ガ行ハレタノデゴザイマス、其ノ際ハ一昨年ノ十二月ニ於キマシテハ、昨日大臣カラモ御話ノアリマシタ如ク、先ツ「トラック」ノ積載量ノ増加ヲ圖ツタノデゴザイマス、在來ハ御承知ノ如ク「トラック」ニ對シマシテハ、積載制限ガアリマシテ「トン」及ビソレヨリ以上積ンデハイカヌ、寧ロ過積スレバ警察ガ取締ルト云フヤウナ状態デゴザイマシタガ、ソレデハ輸送力ノ増強ニナラナイノデ、警察方面ノ許ス範圍ニ於テ過積ヲ認メルコトニ致シマシタ、大キイ場合ニ於キマシテハ七割程度ノ積載量ノ引上ヲ許シタノデゴザイマス、積載量ノ引上ヲ認メレバ、當然一車幾ラデ運賃ガ計算サレテ居リマス、「トラック」ノ料金モ騰ツテ參ル譯デアリマシテ、其ノ意味ニ於キマシテ運賃ノ値上モ致シマス、大體四割程度運賃ハ上ガタカト考ヘルノデゴザイマス、何レニ致シマシテモ車輛ノ積載量ノ引上ト云フモノト運賃ノ値上、是ハ何レモ大幅ノ引上ヲ實施致シマシタ、サウシテ是ガ東京府デ行ハレマシタ結果、各地モ順次之ニ倣ヒマシテ引上ガテ居ルノデアリマス、今日ノ状態ニ於キマシテハ一應「トラック」ノ運賃ハ納ツテ居ルカト考ヘマスノデ、將來特別ノ事情ガ生ズレバ別デゴザイマスガ、當分ハ現狀ノ儘デヤッテ行ケルノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○男爵久保田敬一君 只今ノ過積ノコトニ關シテ、チヨット御尋ネ致シマスガ、之ヲ認メタト云フノハドウ云フ意味デゴザイマスカ、大目ニ見ルト云フノデアリマスカ、

或ハ規定ヲ改正サレタノデアリマスカ

○政府委員(佐藤榮作君) ソレハ最大ノ積載量ノ引上認可手續ヲ取りマシテ、警察デ認可スル、斯ウ云フコトデゴザイマス

○男爵久保田敬一君 サウスルト「トラック」ニ「トン」積トカ、或ハ二千「キロ」トカ書イテアリマスカ、ソレヲ過積シテモ宜イト云フヤウナ認可書カ何カ持ッテ「トラック」ガ歩イテ居ル譯デゴザイマスカ

○政府委員(佐藤榮作君) ソレハ積載「トン」數ヲ書キ直シテ參ツタ譯デゴザイマス、在來「トン」半ト云フモノハ、「三」トカ或ハ四「トン」トカ云フ書キ方ニ變ツテ參ッテ居ル譯デアリマス

○男爵久保田敬一君 其ノ點ヲハッキリシテ載カナイト、乗合自動車デモ定員ガアツテ、其ノ定員ヲ超過シテハナラヌト云フコトニナツテ居ルノデ、今定員ヲ超過シナイ乗合自動車ト云フモノハナイノデスケレドモ、サウ云フコトヲ言ツテハ甚ダ悪イケレドモ、警察官ニ恨マレルトカ何トカ云フコトガアルト、ソレハイキナリ捕ヘテ是ハ定員超過デイカヌトカ云フコトデ、罰金ヲ取ラレタリスルコトガ聞タアルト云フコトヲ聞イテ居ルノデ、貨物自動車モ過積ヲ許ストカ、大目ニ見ルトカ云フコトヲ、此ノ頃輸送力ノ増大ノ爲ニ能ク言ハレルノデスケレドモ、是ハハッキリト法規デ正當ニ許サレテ居ルト云フコトニナツテ居ラナイト、私ガ先程申上ガタヤウナ弊害ガアルト思フ、乗合自動車ノ定員ノ如キモ、其ノ點カラ言フト貨物自動車ト同ジヤウニ、非常ニ小サ過ギテ、今二倍モ三倍モ乗ツテ居ルノハ幾ラモアルノデ、殊ニ鐵道ノ車輛ナドハ迎モヒドイモ

ノガ乗ツテ居ルノデアリマスカレドモ、サウ

云フコトヲハツキリサレテ、或ハ乗合自動車ナドモモウ少シ定員ヲ餘計ニシテ、ソレ以上ハ積マヌト云フコトニシタガ或ハ適當デヤナイカト云フ氣ガスルノデスガ如何デセウ

○政府委員(佐藤榮作君) 貨物ノ點ハ御話ノ如クハツキリシテアルノデアリマス、車輛ノ後尾ニ「トン」數ガ記入シテアルノデアリマス、ソレデ今申上ガタ引上ノ處置ガ出來テ居ルノデアリマス、唯御話ノ如ク「バス」ナリ電車等ニナリマス、今御話ノ通りノ實情ニアリマス、色々地方ニ於キマシテモ「バス」ガ定員以上乗セタト云フコトデ巡查ガヤカマシク言ツタトカ、斯ウ云フ話モ聞タ伺フノデアリマス、只今ノ御話ノ點ニ付キマシテハ私共モ十分一ツ考ヘテ行ク積リデゴザイマス

○委員長(子爵秋元春朝君) 只今ノニ關聯シテチヨット伺ヒタイト思ヒマスガ、是ハ根本方針ダト私ハ思ヒマス、今度ノ自動車法案誠ニ結構ナ話デ、主務大臣ガ陣頭ニ立ツテ末端迄ズツト皆監督スル、極ク宜イコトダト思ヒマス、今迄地方鐵道トカ、軌道トカ色々ナモノガアル譯デアリマス、斯ウ云フモノニ對シテハ、此ノ際何カ改正ヲシテ歩調ヲ合セルト云フ必要ハアリマセヌカ、其ノ儘ニシテ運用宜シキヲ得レバ行ケルト云フ御肚ダト思ヒマスガ、法規ヤ其ノ他書イタモノニ付テ、何カアリマセヌカ

○國務大臣(八田嘉明君) 此ノ地方行政ト中央官廳ノ關係デゴザイマスガ、先程來實問應答ヲ重ネラレタヤウニ、大體御承知ノ通り、地方ニ於ケル綜合行政ト云フモノハ出來ル限り之ヲ確保シテ參ルヤウニ致ス、殊ニ戰時下ニ於テハサウ云フコトガ必要ダ

ト思ヒマス、又一方ニ於キマシテハ、例ハバ鐵道、陸運ノ場合カラ申シマスルト、全國的ニ或ハ場合ニ依ッテハ大東亞全體ヲ睨ンデ政策ヲ立テ、又緊急ニ應ジテノ對策ヲ講ジテ行カケレバナラヌト云フ意味カラ、絶エズ眼ヲ全國ニ、中央官廳ハ配ッテ行カナケレバナラヌト云フ態度ト、此ノ兩方兼合デ以テ、全體ノ中央並ニ地方ニ於ケル末端迄ノ行政及ビ政治其ノモノガ運用サレテ行カナケレバナラヌト云フ原則ノ下ニ總テ行ハレテ居ル譯デアリマスガ、鐵道、陸運ノ關係ニ於キマシテモ勿論サウデアリマス、鐵道ニ關シマシテハ私カラ申上ゲル迄モナク、殆ド我が國ノ鐵道ハ國有鐵道ト云フモノガ一手ニ引受ケテヤッテ居ル、地方鐵道ハ或意味カラハ同業デアリマスガ、或意味カラハ國有鐵道ヲ運用シテ居ル所ノ中央官廳デアル所ノ鐵道省ガ必要ナ監督ヲ致シテ居リマスルカラ、運用ノ面ニ於テモ亦政策ノ面ノ上ニ於テモ、又緩急何レノ場合ニ於テモ立派ニ協力ガ出來テ居ル譯デアリマス、軌道ニ至リマスルトハ御承知ノ通り、鐵道省ト内務省トノ共管ニナツテ居ル譯デアリマス、即チ道路行政ノ方ノ關係カラサウナツテ居ル、此ノ點ニ付キマシテハ色々昔カラ議論ガアリマシテ、何カ之ヲ一ツニ纏メル方法ハナイカト云フノデ、關係省ニ於テソレゾレ案ヲ持ッテ居ルノデアリマスガ、今日迄ノ所デハ色々ノ關係カラ、マダ軌道ト云フモノガ共管デアルト云フ域ヲ離レルコトガ出來マセヌノデ、今後ニ於キマシテハ出來ルダケ之ヲ簡易化スル、少クトモ運用ニ於テ、最モ簡捷化スルト云フコトガ必要デアラウト考ヘルノデアリマス、自動車ニ付テ今議題ニナツテ居リマスルトハ御承知ノ

通りデアリマス、ソコデ先ヅ自動車ハ今回ノ事業法ノ改正並ニ事業其ノモノノ統合實施ト云フコトニ依リマシテ完全デ、アリマセヌガ、先ヅ過去ヲ振返ッテ見レバ、一段ト飛躍シテ國家統制的ノモノニ近クナッテ參ルト思フノデアリマス、併シマダ是ハ決シテ十分デハゴザイマセヌ、將來尙之ニ付キマシテハ考ヘテ行カナケレバナラヌト思ヒマスガ、一應ソレデ行カウ、サウスルト殘ル問題ハ今御話ノ地方鐵道軌道ト云フモノニ付テドウカト云フコトニナルノデアリマスガ、是ハ御承知ノ昨年重要産業團體令ニ依ッテ出來マシタ所ノ鐵道軌道統制會ガ昨年ノ春設立致サレマシテ、今回二月一日カラ鐵道大臣ノ權限ヲ、思ヒ切ッテ權限委讓ヲ致シテ居リマスノデ、之ニ依ッテ地方鐵道軌道ト云フモノニ對シテノ國家的意思ト云フモノガ、極ク簡潔ニ上下有無相通ズルヤウニナリマス、活潑ナル行動ヲ取レルヤウニナリマス、先程自動車ニ付テ地方長官ノ事業者ニ對スル關係及ビ鐵道局長ノ事業者ニ對スル關係ニ於キマシテモ、是等ニ付キマシテモ兩方カラ同ジヤウナコトニ業者ニ指圖ヲスルト云フコトニナリマスルト非常ニ煩雜ナ感じヲ持チマスルノデ、是等モ互ニ相重複シナイヤウニ、此ノ筋ハ地方長官、此ノ筋ハ鐵道省、中央ト地方ハ斯ウダト云フ風ニハッキリシテ行カナケレバナラヌト私ハ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、要スルニ今御尋ノ點ハ、今日ノ所デハ別段地方鐵道軌道ニ對シテハ法規的ノアレハナイノデアリマシガ、統制會ノ運用ニ依リマシテ有ラユル點、縦カラ見マシテモ横カラ見マシテモ、完全ナヤウニシテ行キタイト思ヒマスガ、併シ統制會其ノモノニ付テハマダ識者ノ間

ニ相當ノ議論モアリマスルシ、今後此ノ鐵道軌道ニ付キマシテモ私共ハ、唯一旦サウ決ツカカラソレデ宜イトハ考ヘテ居リマセヌ、今御話ノヤウナ點ヲ考ヘマシテ、十分ニ是ガ運用ノ改善強化ヲ圖ツテ行ク必要ガアル、ソレガ爲ニ必要ナ場合ハ地方鐵道法軌道法モ改善シテ行カナケレバナラヌト考ヘテ居ル次第デアリマス、要スルニ昨日來此處デ色々申上ゲ、又御尋ガアリマシタガ、如何ニシテ現存シテ居ル交通機關ヲ此ノ戰時下ニ於テ國家ノ最モ要請シテ居ル所ノ、其ノ線ニ向ッテ振ヒ立タセ得ルカト云フコトヲ目標ニシテ色々ヤッテ居リマス、處ガサウ口デ申シマスガ、實際ハ色々ナ法規デアルトカ、何ト申シマスカ、習慣ト申シマスカ、或ハ權限ガ分立シテ居ルト云フヤウナ關係カラ、實際ハ私ガ申スヤウナ風ニハ行ッテ居ラヌノデアリマスガ、是ハ努メテ改善ヲ致シテ行キタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○委員長(子爵秋元春朝君) 只今御話ヲ承リマシテ私モ左様ニ實ハ考ヘテ居ルノデアリマス、要スルニマア言葉ハ悪イカモ知レマセヌケレドモ、一貫作業デズット行キサヘスレバ宜イダラウト思フノデスガ、又軍需用品ニシテモ、又生活必需品ニシテモ、物資ノ移動ガ迅速ニ行キサヘスレバ何モ不便ヲ感ズルコトハナイノデス、是ガ滯貨ヲシタリ、又生鮮品ナシカニ至リマス、滯貨ノ結果折角増産シタノニ是ガ腐ッテシマフ、何モナラヌヤウナ結果ニナル、木炭ノ例ニシテモ、大根ヤ其ノ他ノ例ニシテモアルノデアリマス、ドウカ一ツ今大臣ノ御話ノヤウニ此ノ戰時目的ニ成ルベク速カニ、成ルベク良イ方法ヲ以テ、サウシテ限リア

ル施設ト申シマスカ、或ハ機構、是デ以テ發揮シテ行クト云フコトニ一ツ御努力ヲ願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(八田嘉明君) 只今ノ御話ノ通り全ク大事ナ點デアリマス、一言チヨット私ハ附加ヘタイト思ヒマスガ、日本ノ交通機關、殊ニ鐵道ト云フヤウナモノヲ初メトシマシテ、軌道ハ是ハ別ト思ヒマスガ、自動車ト云フヤウナモノニ對スル考ヘ方ガ、大體過去ニ於キマシテハ地方的ニ考ヘラレテ、モノガ總テ出來テ居ルノデアリマス、現ニ鐵道其ノモノニ於テモ地方鐵道ト云フ名前ガ附イテ居ッテ、一地方ノ交通ヲ目的トスルト云フモノヲ認メテ居ル、而モソレハ其ノ地方ニ固定シテ居ル、ソレカラ今度軌道ハ勿論地方ノ軌道デアリマス、前後ガ切レテ居ルノデアリマスガ、自動車ニシマシテモ、發達ハ全ク其ノ一地方ノ極ク小部分ノ發達ノ爲ニ、寧ロサウ云フ意味ニ於ケル普及、發達ヲ圖ツテ來タノガ過去ニ於ケル日本ノ交通機關ノ考ヘ方デアアル、處ガ此ノ事變以來、殊ニ大東亞戰爭トナッテ見マスルト、是ハ根本的ニ改メテ、苟クモソレガ地方ニ存在シヤウトモ或ハ中央ニアラウトモ、總テ之ヲ全國的ノ動キノ觀點カラ動カシテ行ク、サウシテ活動サセル、施設スル、改善スル、斯ウ云フコトデナケレバナラヌト思フノデスガ、過去ガサウ云フ風ナコトデ進ンデ居リマス關係上、法規ヤ何カモ矢張り何ト申シテモサウ云フ習慣性ヲシツカリ持ッテ居ル、之ヲ解イテ今ノヤウニ振ヒ起シテヤルト云フコトガ、我々ハ再檢討ト云フテ居ルノデスガ、ナカソレガ施設ノ上ニ於キマシテモ法規的ニモ、大變ムツカシイ點ガアルノデアリマス、デアリマスカラ總テ

私共ノ今色々御審議ヲ願ッテ居ルヤウナ案ニ致シマシテモ、實際申スト飛躍的ニ其處ニハ、實ハ見當ハ其ノ方ニ向イテ居リマスガ、ナカソレカナイ、從ッテ御尋ニ對シテ御答ヘスルヤウナコトモ、往々ニシテサウ云フコトニ矢張り關聯シテ遺憾ナキ能ハズト自分自身ガ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、ドウカ其ノ點御了承戴キマシテ、一ツ此ノ案ニ付テ御考ヲ願ッテ置キタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○委員長(子爵秋元春朝君) 今ノ御話デ私モチヨット思ヒ付イタノデアリマスガ、小運送ノ強化ハ是ハ誰モ考ヘテ居ルコトデスガ、殊ニ末端ノ集荷及配給、之ニ要スル設備トカ、或ハ色々ノ運搬トカ云フヤウナモノ、又ソレヲ運搬シマスニ付テノ通信設備、ドウモ斯ウ云フヤウナコトガ兎角所管ガ違フト申シマスカ、何カ知ラヌガチガハグニナッテ居ルノデアリマス、此ノ點鐵道省アタリガ今度人ヲ貸シテモ宜シ、又人ヲ入レテモ宜シ、智慧ヲ貸シテモ宜シ、何トカ乘込ンデ連絡ノ執レタ末端ノ集荷配給ニ迄計畫ヲ立テルト申シマスカ、何カモットウマク行クヤウナコトガ私ハ出來ナイモノデヤナイカト思フノデスガ、今ノ所ハ、市ニシテモ又地方ニ致シマシテモ、殆ド運輸ト云フコトニ付テノ、サウ申スト叱ラレルカモ知レマセヌガ、餘リ經驗ノ無イ連中ガ集ッテ之ヲヤッテ居ルヤウナ話ナンデス、サウ云フヤウナコトノ何カ御考ガアリマセヌカ、是モ併セテ御所見ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○國務大臣(八田嘉明君) 御話ノ如ク國ノ物及人ノ移動ト云フコトニハ、必ズ自分ノ足ト云フコトハ別デアリマスガ、其ノ以外ニ於

テハ必ズ何等カノ輸送機材ト云フモノガ關  
係ヲ持ツ譯デアリマス、ソレカラ今ノ御話  
ノヤウニ小ニシテハ、貨物ニシテハ小車ノ  
ヤウナモノモアリマスルシ、又貨物ニシテ  
モ、自轉車、色々ノ所謂モガ普通交通  
機關トシテ唱ヘマスル以外ニ、實ハ非常ニ  
多數ノモノガアル譯デアリマス、之ガ本當  
ニ活動シナケレバ、御話ノ如ク神經ノ末端  
末梢神經迄ハ實ハ行カナイ、末梢神經ガ動  
カズシテ而シテ大動脈ガ動ク筈ガナイノデ  
アリマスカ、此ノ點ハ實ハ非常ニ大事ナ  
點デアリマス、是モ必ズ私ハ今後ニ於テ、  
世間ノ要求モ既ニ大キナ問題トナツテ居リ  
マスルシ、此ノ交通機關ト云フ部面、輸送  
ト云フ部面カラ各官廳ノ別、分レテ居リマ  
ス點ハ別ト致シマシテ、鐵道省ト致シマシ  
テモズト之ヲ深く掘下ゲテ行ク、サウシ  
テ之ニ協力シナケレバナラヌト考ヘテ居リ  
マス、若シ政府委員カラ此ノ點ニ付テ御答  
アリマシタラ……、是等ノ點ニ於キマシテ  
ハ實ハ資材ガナカク、行渡ラナイノデアリ  
マス、荷車、手車ト云ヒマスカ、馬車トカ、  
色々アルノデアリマスガ、是等ニ付テ實ハ  
政府委員カラ詳シク御答ヘ申上ゲレバ、鐵  
道省デモ決シテ抛ッテハナイノデアリマス、  
出來ルダケノ力ヲ致シテ地方廳トノ關係ニ  
於キマシテヤツテ居リマスノデ、今後必ズサ  
ウ云フ風ニナルダラウト思ヒマス

○委員長(子爵秋元春朝君) 今デモナンデ  
ヤアリマセスカ、地方鐵道局アトリデハ、  
其ノ近邊ノ府縣アタリノ輸送關係ニ付テ協  
力シテヤツテ居ラレルノミナラズ、モット進  
ンデ居ラレテ、縣廳ノ内部ニモ或ハ行カレ  
テ、或ハ囑託ト云フカ、何カ知リマセヌガ、  
一員トナツテ計畫輸送ニ力ヲ添ヘテ居ラレ

ルト云フヤウナ話ヲ聞イテ居ルノデスカ、  
ソナ風ナ事情ハドウナツテ居リマスカ、是  
ハ政府委員ノ方デ宜シウゴザイマスカ……  
○政府委員(堀本鎌三君) 先程仰シヤイマ  
シタヤウニ、何ト申シマスカ、輸送力ヲ最  
高度ニ發揮スルト云フ觀點カラ見マスト、  
私共ノ經驗ガ未熟デアリマスカ、長イ間ノ  
國有ト申シマスカ、國有以來ト申シマスカ、  
明治五年以來ト申シマスカ、長イ間ノ先  
カラ受繼イデ來マシタ經驗、之ヲ各方面ニ  
活用致スト云フコトガ非常ニ大切ダト思フ  
ノデアリマス、ト同時ニ先程大臣カラモ申  
上ゲマシタヤウニ、此ノ輸送ヲ國ノ要求ス  
ル所ニ最モ重點ニ活用スル、サウ云フコ  
トガ必要ダト思フノデアリマス、サウ云フ  
關係カラ致シマシテ、國有鐵道ヲ根幹ト致  
シマシテ、地方鐵道、軌道及自動車、小運  
送、斯ウ云フ風ナ輸送機關全部ノ能力ヲ統  
一的ニ發揮サセル、而モ國策ト表裏一體ニ  
ナル、ソレデナケレバ如何ナル國策モ實施  
ニ當ッテハ空ナ、紙ニ描イタモノニ近イモ  
ノニナリ勝チダ、斯ウ云フ觀點カラ輸送協  
議會ト云フモノヲ官制ニ於キマシテ造リマ  
シテ、物資官廳及各統制會社、統制會ト云  
フモノヲ併セマシテ、重要物資ニ付キマシ  
テ輸送計畫ト配給計畫ノ一致ヲ期シテ居ル  
ノデアリマス、兩者ガ集リマス所、物資ノ  
配給ト輸送計畫ガ全ク渾然一體ニナリ、此  
ノ點ハ相當ノ成果ヲ擧ゲテ居ルト思ヒマス、  
尙地方ニ於キマシテモ重要ト生産地帯ニ於  
キマシテ、是等ノ地方ノ協議會ヲモ作ッテ  
居リマス、生産地帯ト申上ゲマシタガ、消  
費地帯ニモ作ッテ居ル譯デアリマス、尙必  
要ニ依リマシテ、之ヲ各地方ニ推シ及スト  
云フ風ナ考ヲ持ッテ居リマス、尙自動車ニ關

シマシテモ府縣ニ、鐵道省ニ居リマシテ、  
經驗ヲ積ミマシタ者ヲ、向フノ係官ト致シ  
テ勤務致サセマシタリ、或ハ其ノ外ニ特殊  
ナ地帯ニ於キマシテハ、其ノ地方ノ交通ノ  
國土計畫カラ見マシタ、或ハ調整ノ觀點カ  
ラ見マシタ專門家ヲ地方廳ニ派シマスト云  
フ風ナ狀態デ、出來ルダケノコトヲ致シタ  
イ、斯ウ云フ風ナ考ヘデアリマス、尙今後  
ハ斯ウ云フ趣旨ノコトヲ段々其ノ必要性カ  
ラ推シ擴メテ行カナケレバナラヌ、斯ウ云  
フ風ニ考ヘテ居リマス

○政府委員(佐藤榮作君) 先程ノ御話、殊  
ニ「トラック」ト謂ハズ其ノ他荷馬車、荷車  
或ハ川舁、筏、有ラユル輸送方法手段ト云  
フモノヲ考ヘラレマスカ、ソレ等ニ付テ綜  
合的ナ能力發揮ヲ期スルヤウニ色々政策ヲ  
進メテ居ル譯デアリマス、荷馬車ハ今申上  
ゲマシタヤウナ中デハ大キナ輸送力ヲ持ッ  
テ居ルノデアリマスガ、此ノ小運送用具ト  
シテノ荷馬車ノ充實自身ヲ、鐵道省デモ小  
運送業者ニ勸メテ居ルバカリデナク、大運  
送ノ末端或ハ補助トシテノ荷馬車ノ保有政  
策……、少シ言葉ガ大キ過ギマスカ、サウ  
云フコトモ考ヘラレル譯デアリマス、之ニ  
付キマシテハ先ヅ馬……、駄馬、デゴザイマ  
シ、馬ヲ出來ルダケ確保シナケレバナラナ  
イ、ソレハ農林省ノ關係デゴザイマスカ、併  
シ農林省ノ方ニ於テモ、色々此ノ馬ニ付テ  
ハ鐵道省其ノ他ノ各省ノ意見等モ採リ入レ  
テ考ヘテ吳レテ居ルヤウデアリマス、殊ニ  
荷馬車ハ大都市ト致シマシテハ、大阪或ハ  
名古屋附近、關西方面ニ於テ非常ニ荷馬車  
ノ利用ガ普及シテ居リマスノデ、陸上運搬  
トシテハ是非共ソレヲ考ヘナケレバナラナ  
イノデアリマス、此ノ駄馬ヲ色々世話シテ

實フコト、ソレカラ其ノ飼料等ノ確保ニ付テ  
モ小運送業者自身デ考案致シマシテ、殊ト  
云フカ、サウ云フヤウナ物モ色々考ヘテ居  
ルヤウデアリマス、又地方廳ニモ色々組合  
ノ結成等ヲ命ジテ居リマシテ、各地ニ於キ  
マシテ荷馬車組合等ガ順次結成サレテ居ル  
ヤウデアリマス、最近東京市内ニ於キマシ  
テモ警視廳ニ於キマシテ、此ノ組合ノ結成  
ヲサセ、其ノ料金等モ公定サセタヤウ事  
例ガゴザイマス、是ハ單リ東京バカリデハ  
ナク、名古屋、大阪等ノ大都市ハ勿論、地  
方ニ見マシテモ北海道トカ、或ハ東北地  
方ニ於キマシテモ、荷馬車ノ普及ヲ相當積  
極的ニ勸メテ居ルノデアリマス、唯申上ゲ  
マスル如ク、馬ガナカク、思フヤウニ手ニ  
入ラナイ、ソレカラ荷車自身ヲ造ルコトモ、  
是モナカク、意ニ任セナイ點ガアルノデゴ  
ザイマス、何レヲ見マシテモソレノ困難  
ナ實情ハアルヤウデアリマスガ、輸送力ノ  
増強ト云フ考ヘ方カラ致シマスカ、有ラ  
ユルモノヲ動員スル必要ガアリマスルノデ、  
單リ鐵道、軌道、自動車、バカリデナク、先  
程申上ゲマシタ荷馬車、荷車、川ノ筏流シ、  
或ハ川舁、斯ウ云フヤウナモノニ迄全部其  
ノ能力ヲ向上發揮サセルヤウニ、色々手  
ヲ打ッテ居ルヤウナ次第デアリマス

○子爵秋田重季君 私ハ今ノ問題デハナイ  
コトデ御伺ヒシタイト思ヒマスガ、實際ノ  
狀況ヲ一ツ伺ヒタイト思フノデアリマス、  
是ハチヨット事柄ガ小サイヤウデアリマス  
ガ、非常ニ大キナ問題ダト私ハ思フノデ  
ス、ソレハ私日々地下鐵道ヲ利用シテ居ル  
ノデアリマスルガ、此ノ地下鐵道ヲ見マス  
ルノニ、非常ニ乘客ガ混雜致シマス、又朝  
晩ノ「ラッシュ・アワー」デアリマスト、澁谷ノ終

晚ノ「ラッシュ・アワー」デアリマスト、澁谷ノ終



點ニ車輛ガ著クト、折り返シテ直グ又其ノ車  
輛ガ發車スルト云フ風デアリマシテ、其ノ車  
輛ヲ殆ド検査スル暇ガナイノデヤナイカト  
思ハレルノデス、又近頃ニナリマスルト、  
此ノ地下鐵デハ故障ガ頻々トシテ起ツテ居  
ルヤウニ思ハレル、私ハ一日ノ中ニハサウ  
度々ハ乗リマセケレドモ、朝夕乗ルヤウ  
ナ時ニ度々故障ガ起ツテ居ルノデアリマス、  
ソレカラ見マシテモ相當故障ノ數ガ多イノ  
デヤナイカト考ヘラレルノデアリマス、車  
輛モ段々使ツテ古クナツテ參ッテ居ルノデ、  
其ノ故障ノ數モ多イノダラウト思フノデ  
スガ、又鐵道當局ノ方デソレヲ監督サレル  
上ニ於キマシテモ、人ガ減ツテ居ルト云フ  
ヤウナコトデ十分御監督モイカナイノデ  
ヤナイカト思フノデス、サウシマス、私  
ハ日々非常ナ心配ヲ持ツテ地下鐵ニ乗ッテ居  
ルヤウナ始末ナンデス、益々車輛ヲ使ッテ參  
ルト、其ノ故障ノ程度ガドンドント増加シ  
テ來ルノデハナイカト思ハレルノデス、是  
ハ私ハ地下鐵バカリデナクテ、全國ノサウ  
云フ電車、軌道等ニ付テ考ヘラレルコトデ  
ヤナイカト思フノデス、又地下鐵ノ多キハ  
アノ地下ノ「トネル」ノ中デ故障ヲ起シテシ  
マッタラ、ナカク「出ル」ニモ出ラズ、乗客  
ハ非常ナ不安ヲ持タナケレバナラヌト云フ  
ヤウナコトニモナツテ參ルノダラウト思フ  
ノデアリマス、先達テモ事實故障ガアツク  
デアリマスガ、仕方ガアリマセヌカラ、市  
電デ歸ラウト思ッテ上ヘ上ルト、其ノ地下  
鐵ノ故障デ地下鐵ニ乗ル人ガ皆市電ヲ利用  
スルノデ、是亦市電ニ人ガ殺到シテ、到底  
乗レナイト云フヤウナ結果ニナツク譯ナン  
デス、ソレデ實際ニ監督ヲサレテ居ラレル  
ダラウトハ思ヒマスケレドモ、事實車輛ノ

検査ト云フヤウナコトガ會社デ出來ナイノ  
デヤナイカト思フノデアリマスガ、此ノ點ハド  
ウ云フ風ニ御監督ナサッテイラシヤルカ、  
是ハ小サイヤウデアリマスケレドモ、全國  
的ニ非常ニ重大ナ問題ダラウト思フノデア  
リマス、此ノ點ヲ一ツ實際問題トシテ、直接  
御關係ノ方カラ御考ヘフ伺ヒタイと思ヒマ  
ス

○政府委員(佐藤榮作君) 東京ノ地下鐵ニ

付キマシテハ、實ハ私自身モ毎朝毎夕澁谷カ  
ラ新橋迄乗ッテ居ルノデアリマス、大變混雜  
ヲシテ居リマスルシ、今御話ノ如ク、續イ  
テ折り返シテ直グ又運轉シテ行クト云フヤ  
ウナ實情ニゴザイマスシ、又色々「モータ  
ー」ガ燒ケルトカ、其ノ他ノ事故モチヨイ  
チヨイアルヤウデアリマス、之ニ付キマシテ  
モ營團當局ハ勿論ノコト、我々監督官廳ト  
致シマシテモ、色々ノ對策ヲ考案工夫シテ  
居ル譯デアリマスガ、御承知ノ如ク此ノ線  
ハ山ノ手線ノ非常ニ「シヨートカット」ニナ  
テ居リマス、從ツテ澁谷カラ銀座、日本橋  
方面ヘ行クノニハ最モ宜イ「ルート」デアリマ  
スガ大變ナ乗客ノ増加數ヲ示シテ居ル線路デ  
アリマス、ソレデ現在アリマス線路ノ輸送力  
増強ノ方法ト致シマシテハ、車輛ヲ新造致シ  
マシテ、二輛連結ヲ三輛ニスル、更ニ其ノ  
爲ニハ在來線ノ高速度ト申シテ居リマシタ  
方ノ「驛」ガ狭イモノデスカラ、アノ「プラ  
ト・フォーム」ヲ擴張スルトカ、色々ノ計畫  
ハ立ツ譯デアリマスガ、ナカク「車輛ナリ或  
ハ所要資材ト云フモノガ入ラナイモノデス  
カラ、十分ノ效果ガ擧ラナイノデアリマ  
ス、最近、ト申シテモ昨年デゴザイマス  
ガ昨年漸ク極ク僅カデハゴザイマシタガ、  
車輛ノ増備計畫ヲ認可可致シマシテ、サウ

シテソレノ製造工程ニ入ッテ居ルヤウナ  
次第デゴザイマス、併シソナモノヲ待ツテ  
居ル譯ニモ參リマセヌノデ、極ク最近ノ狀  
態デゴザイマスガ、途中折返シ運轉ヲ先月  
カラ實施サシタノデス、其ノ途中折返シ運  
轉ト申シマスノハ、三越前デゴザイマス  
ガ、アソコデ折返シスル譯デゴザイマスガ  
澁谷ノ方カラ參リマス電車ガ三越前デ折返  
シマスル、其ノ結果實ハ非常ナ成績ガ擧リ  
マシテ、電力ニ於キマシテ約八「パーセン  
ト」ノ減、ソレカラ車輛ヲ引イテ參リマス  
ノデ、輸送力ニ於キマシテハ相當ノ増加ヲ  
來ス、斯ウ云フヤウナ非常ニ好イ結果ヲ擧  
ゲタノデス、是アタリハ極クチヨットシタ工  
夫、工夫ト申ス程ノコトデハナイノデゴザ  
イマスガ、御承知ノ通り在來ノ澁谷カラ出マ  
シタ車ガ淺草迄直通シテ居ル、大體三越附  
近迄行クト客ガウント落チテ來ル、ソレデ  
「ラッシュ・アワー」ニ對シマシテ、アソコニ折  
返シ線ガゴザイマスノデ、其ノ折返シ線ヲ  
使ツテ澁谷ト三越ノ間ヲ運轉スル、之ヲヤラ  
シタノデス、是アタリハ、アソコニアリマ  
ス「ポイント」ガ電氣「ポイント」カ何カ  
デ、萬一事故デモ起スト大變ナコトニナル  
ト云フコトデゴザイマシタガ、調査致シテ  
見マスルト十分使ヘルヤウナノデ、今申シ  
マスヤウナ方法ヲ採ラシタノデアリマス、  
是アタリハ幾分カ輸送力ノ緩和ニ役立ツタ  
カト考ヘテ居リマス、單リ地下鐵バカリデ  
ナク全國ノ地方鐵道、殊ニ都市附近ニ於  
キマシテハ非常ナ旅客數量ノ増加デアリマ  
シテ、之ノ對策ハ非常ニ苦心ヲシテ頭ヲ悩  
マシテ居ル譯デアリマスガ、ナカク「車輛  
ガ入りマセヌノデ、省ノ拂下車輛、或ハ地  
方的ニ效率ガ稍、惡イト云フヤウナ地方ノ鐵

道ノ車ヲ都會ニ引上ゲテ來ルト云フヤウナ  
方法ヲ講ジテ、漸ク賄ツテ居ルヤウナ次第  
デアリマス、或ハ車輛自身ガ老朽デアリ、  
或ハ非常ニ多忙デアアル爲ニ修理ナリ検査ガ  
不十分デ、運轉上支障ガアルノデハナイカト  
云フ御懸念ガアルヤウデアリマスガ、此ノ  
點ニ付キマシテハ、輸送ノ重大性ト云フ  
モノニ鑑ミ、殊ニ使ツテ居リマス車輛ガ  
今申スヤウニ相當「オーバー・ロード」ニ  
ナツテ居リマス、ソレヲノコトモ能ク分ツテ  
居リマスノデ、關係ノ技術員等ハ有ラユル  
苦心ト努力ヲ拂ツテ、検査其ノ他ニ遺漏ナキ  
ヲ期シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、從  
ヒマシテチヨット見マシタ處、非常ニ怖イヤ  
ウニモ考ヘラレマスルガ、必ズシモ「キロ」當  
リノ事故カラ見マス、サウ多イト云フヤ  
ウニモ考ヘラレナイノデアリマス、特殊ノモ  
トト致シマシテハ、機械油ノコトニナリマ  
スルガ、是アタリガ、ドウモ不十分デアリ  
マスルガ爲ニ、「モーター」燒ケト云フヤウ  
ナ事故ガチヨイノ「出テ來ルヤウデアリマ  
ス、ソレカラ又特殊ノ「ポイント」等ニ於キマ  
シテハ、手當ガ十分行ハレナイ爲ニ脱線ス  
ルト云フヤウナコトモアルヤウデスガ、サ  
ウ云フヤウナ場所等ニ付テハ特殊ナ手當ヲ  
隨時ヤッテ行ク、要スルニ原因ヲ探究スレバ  
ソレノ「對策」ガ取レルヤウデアリマス、  
地下鐵ガ營團ニ移リマシタ當初ニアリマシ  
タヤウナ事故ハ、最近ハ其ノ跡ヲ絶テ居リ  
マス、線路ノ狀態、車輛ノ狀態ナリガヨク  
分ルヤウニナルニ從ヒマシテ、十分ナ手當  
ガ出來テ行クトデヤナイカト思ッテ居リマ  
ス

○子爵秋田重季君 色々ノ點ニ付テ御努力

ニナツテ居ルコトハ間違ナイと思ヒマスケレ

ドモ、近頃三輛連結ノ車ヲ動カシテ居ルヤ  
ウナコトモ度々拜見スルノデゴザイマスガ、朝  
ノ「ラッシュ・アワー」ノ時ナンカハ澁谷ノ地  
下鐵ノ「プラットホーム」カラ階段ニズツ  
ト一パイ乗客ガ集ッテ、下ノ方ノ開札口マデ  
人ガ詰ッテ、ソレガチツトモ動カナイヤウナ  
コトニ此ノ間ブツ突カッタノデアリマスガ、

サウ云フヤウナ状態デアリマスルカラ、車  
輛ノ検査等ハ十分オヤリニナルト云フ今ノ  
御話デアリマスケレドモ、或ハ其ノ暇ガナ  
イノデヤナイカト、私ハ實際問題トシテナ  
イカト思ハレルノデス、多少サウ云フヤウ  
ナコトヲ……私マアサウ云フヤウナ方面ニ  
特ニ神經過敏ニナルノカモ知レマセヌケレ  
ドモ、是ハ私人デヤナク、色々乗ル方ニ  
話ヲシテ見マス、矢張り非常ニ不安ヲ持ッ  
テ地下鐵ニ乗ッテ居ル方ガ非常ニ多イヤウ  
ニ思フノデゴザイマスカラ、十分ニ御監督  
ヲナサッテ居ルコトハ間違ナイト思ヒマスケ  
レドモ、今後ニ於テハドウゾ一層ノ御監督  
ヲ願ッテ、故障ノナイヤウニ一ツ御願ヒシタ  
イト云フ希望ヲ申上ゲテ置キマス

○政府委員(佐藤榮作君) 私モ先程申上ゲ  
マシタヤウニ、澁谷カラ乗ッテ居ル一人デア  
リマシテ、殊ニ私ノ方ハ東横線ノ方カラ參  
リマスノデ、其ノ方ハ比較的空イテ居ルノ  
デアリマスガ、此ノ玉川線ナリ、帝都線ノ  
入口ハ御話ノヤウニ大變混雜ヲ來シテ居ル  
コトモ伺ッテモ居リ、又存ジテ居ルヤウナ  
次第デゴザイマス、從ヒマシテ、營團ニ對  
シマシテモ、澁谷ノ驛ノ擴築自身ガ「ホ  
ーム」ノ所デアリマスガ、色々延伸スルコ  
トガ一番ノ急務ノヤウニ考ヘテ居リマス、  
色々營團ニモ交渉シ、營團自身モ能ク事情  
ガ分ッテ居リマスノデ、工夫ヲ凝ラシテ居ル  
ヤウナ次第デアリマス、御承知ノヤウナ建

物ヲモノデスカラ、ナカノ急遽ニ參ラナ  
イノガ今日ノ状態デアリマス、尙先程カラ  
色々御話ガアリマシタ點ニ付キマシテハ、  
私共全ク同ジ考ヘ方ヲ持ッテ居ルノデアリ  
マス、此ノ上トモ十分ノ指導監督ニハ留意  
致ス積リデ居リマス

○委員長(子爵秋元春朝君) 他ニ御質疑ノ方  
ハアリマセヌカ、アリマスレバ續イテ御發  
言ヲ願ヒマス、別ニ御質疑ノ御發言モナイ  
ヤウニ見受ケマスガ、是デ質問ハ全部終了  
致シタモノト認メテ宜シウゴザイマセウカ  
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵秋元春朝君) ソレデハ質疑  
應答ハ是デ全部終了シタモノト認メマス、  
續イテ討論ニ入りマス

○出淵勝次君 私ハ自動車新造促進ト云フ  
コトニ付テ希望ヲ述ベテ見タイト思ヒマス、  
我が國ノ陸運ハ大東亞戰爭ト云フ全ク豫期  
シナカッタ大事件ノ勃發ニ因リマシテ今ヤ  
極度ニ窮迫シツ、アル次第デアリマス、  
之ヲ緩和スル爲ニハ、非常ナ努力ヲ必要ト  
スルノデヤナイカト考ヘマス、若シモ鐵道  
當局ニ於カレマシテ一步誤ルガ如キコト  
ガゴザイマシタナラバ、戰爭ノ遂行上容易  
ナラス結果ヲ齎スノデハナイカト云フコト  
ヲ窃カニ案ジテ居ルノデゴザイマス、陸運  
ノ増強ニ付キマシテハ、固ヨリ先ツ以テ  
鐵道ノ新設、改良ト云フコトハ考ヘラレル  
ノデアリマスルガ、是ガ爲ニハ目下入手ニ  
於テ頗ル困難ナル多量ノ鐵材、其ノ他ノ物  
ヲ必要ト致シマスルシ、又時日モ澤山掛ル  
ノデアリマス、處ガ自動車ノ場合ニ於キマ  
シテハ、資材入手難モ比較的……是ハ比較  
的ノ問題デアリマス、比較的程度ハ少イヤ  
ウデアリマスルシ、又之ヲ造リマスル日時  
モ割合ニ短イヤウデアリマスルカラシテ、

ドウシテモ此ノ際一ツ自動車ノ新造促進ト  
云フコトニ御考ヲ一ツ拂ッテ戴キタイ、色  
色此ノ間カラモ御説明ガゴザイマシタガ、  
ドウゾモウ一遍再檢討ヲ加ヘテ戴キタイ  
ト思フノデゴザイマス、此ノ間モ申上ゲ  
マシタ通り海運ニ於ケル鋼船ト云フモノハ、  
丁度陸運ニ於ケル鐵道ニ當ッテ居ルヤウニ  
思フノデアリマスシ、海運ニ於ケル木船ハ、陸  
運ニ於ケル自動車ト云フヤウナ工合ニテッ  
居ルト思フノデアリマス、木船ノ新造促  
進ト云フコトニ付テハ、所謂最超重要産業  
ト云フ非常ナ言葉ヲ使ッテ居ラレル方モア  
ルノデアリマス、サウシテ頻リニ今國ヲ舉  
ゲテ木船ノ新造ト云フコトニ力ヲ注グ機  
運ガ今熟シテ居ルヤウニ思ヒマス、政府當  
局ニ於カレマシテ、ドウゾ一ツ陸ノ木船タ  
ル自動車ノ新造ニ對シテ最大ノ努力ヲ拂ッ  
戴キタイ、是ハ私ノ考デゴザイマス、私ハ  
段々鐵道當局カラ本案ニ付キマシテ詳細ナ  
ル御説明ヲ伺ヒ、又陸運一般ニ付テノ御抱  
負ヲ伺ッテ、非常ニ満足シテ居ル者デアリマ  
シテ、本案ニ對シテハ固ヨリ其ノ儘贊意ヲ  
表スル者デアリマス、唯次ノ一ツノ簡單ナ  
希望ヲ附加ヘテ置キタイト思フノデアリマ  
ス、一戰時下海運増強ノ爲木船ノ新造喫緊事  
タルト同様陸運増強ノ爲自動車ノ新造焦眉  
ノ急務ナリト認ム、右目的達成ノ爲政府ニ  
於テ最善ノ努力ヲ拂ハレムコトヲ希望ス〕ト

○男爵北大路信明君、私モ本案ニ贊成スル  
者デアリマス、只今出淵委員ヨリ御話モゴ  
ザイマシタガ、只今貨車及自動車ノ増強ト云  
フコトハ刻下ノ急務デアリマシテ、是ハド  
ウシテモ戰時下ニ於テ行ッテ行カナケレバ  
ナラナイモノデアリマスガ、動モスルト是  
ガ遅レ勝チニナル傾向ヲ見受ケルノデアリ  
マス、鐵道當局デハ絶エズ御努力ニナッテ  
居ルコトトハ思ヒマスガ、車輛ノ増強ニ付

キマシテハ一層御努力ヲ切望シテ、私モ本  
案ニ贊成ノ意ヲ表シマス  
○委員長(子爵秋元春朝君) 他ニ御發言ハ  
ゴザイマセヌカ、御發言ガナイヤウデアリ  
マスカラ討論ハ終結致シマシタ、仍テ採決  
ニ入りマス、政府ノ提案原案通り可決ノコ  
トニ致シテ差支アリマセヌカ  
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵秋元春朝君) 政府原案通り  
可決決定致シマシタ、本委員會ニ付託相成ッ  
テ居リマシタ法案ハ是デ全部審議ヲ終ヘタ  
次第デアリマス、委員長甚ダ不得手デゴザ  
イマシタカラ失禮ナコトガアツカカモ知レ  
マセヌカ、御了承ヲ願ヒマス、又同時ニ皆  
様モ長イ間長時間ニ御勉強下サツタコトヲ御  
禮ヲ申上ゲマス、有難ウゴザイマス、本日  
ハ是ニテ散會致シマス  
午後零時七分散會  
出席者左ノ如シ

委員長 子爵秋元 春朝君  
副委員長 男爵久保田敬一君  
委員 侯爵黒田 長禮君  
伯爵大木 喜福君  
子爵秋田 重季君  
出淵 勝次君  
男爵北大路信明君  
坂野鉄次郎君  
唐澤 俊樹君

國務大臣 鐵道大臣 八田 嘉明君  
政府委員 鐵道次官 長崎惣之助君  
鐵道監 平山 孝君  
同 佐藤 榮作君  
同 堀木 鎌三君  
同 小林 紫朗君